

無機リン酸を含まないピルビン酸オキシダーゼ製剤

Cat. No. POPGZ-0001

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	無機リン酸塩を含有しない微生物由来ピルビン酸オキシダーゼ製剤。本酵素はピルビン酸の酸化的脱炭酸反応を触媒し、管理された生化学的反応系に適する。
用途	生化学研究およびピルビン酸依存性酵素アッセイ。
別名	ピルビン酸オキシダーゼ（微生物由来）； PoxB； リン酸依存性ピルビン酸オキシダーゼ

製品情報

由来	微生物
外形	淡黄色～黄色の固体
形態	固形剤
EC番号	1.2.3.3
CAS登録番号	9001-96-1
活性	タンパク質1 mg当たり35 U以上
比活性	タンパク質1 mg当たり35 U以上
熱安定性	30℃を超える温度条件下で10分間インキュベーションすると、活性が低下する。
最適温度	50 mMリン酸緩衝液中における初期活性の至適温度は38℃である。
特異性	ピルビン酸に對して最も高い活性を示し、メチルグリオキサールおよびアセトアルデヒドに對してはより低い活性が報告されている。
活性化因子	チアミンピロリン酸（TPP） フラビンアデニンジヌクレオチド（FAD） Mn ²⁺ などの二価陽イオン
阻害剤	EDTA（10 mM）： 阻害率11% KCN（10 mM）： 阻害率25% NaN ₃ （10 mM）、ヨードアセトアミド（1 mM）またはp-ヒドロキシメルクリベンゾエート（1 mM）では、活性の阻害は認められなかった。
緩衝液	無機リン酸塩は含有していません
機能	ピルビン酸の酸化的脱炭酸。
基質	ピルビン酸； メチルグリオキサール； アセトアルデヒド
品質	無機リン酸塩を含有しない製剤
反応	ピルビン酸+リン酸+O ₂ → アセチルリン酸+CO ₂ +H ₂ O ₂
備考	当該酵素は、提供された製剤に無機リン酸が含まれていないにもかかわらず、リン酸依存性を示します。ソースページには、完全に標準化されたアッセイプロトコールまたは活性単位の定義は提示されていませんでした。

使用法とパッケージング

包装	100単位
調製方法	本製剤には無機リン酸は含まれていません。標準的なリン酸依存性ピルビン酸オキシダーゼ反応を实

保管・発送情報

保存方法

バッチ分析証明書（CoA）に規定された条件下で保管してください。